

知って得する  
白洋舎からのお便り

# ふんわり

## 衣替え

衣替えはもう、お済みでしょうか？

元々は平安時代の宮中行事として行われていた衣替え。季節の変わり目に、あわせ 裕（裏地のある和服）、ひとえ 単衣（裏地のない和服）を着替えるものでした。明治時代になり、新暦の6月1日を夏の衣替え、10月1日を冬の衣替えの目安としたのが、今日にも続いています。

### 衣替えの心得

#### 汚れを落とす

汚れは変色や虫喰いの原因となります。しまう前には、汚れをしっかりと落としましょう。

	<p>ご自宅で洗えます。 仕上げの難しい衣類は、クリーニング店に任せるのも良いでしょう。</p>
	<p>クリーニング店へ。 コートやスーツ、おしゃれ着などはドライクリーニングが安心です。</p>

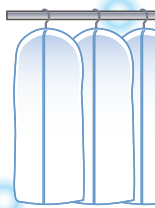
#### 上手にしまう

衣替えは湿度の低い、よく晴れた日に。

まずは収納場所の掃除をし、クリーニング品はポリ袋から出して風を通してからしまいます。

#### 掛ける

スーツなど立体的なものは厚手のハンガーに掛け、余裕をもってしまいます。カバーは、通気性の良い布製のものを。



#### 防虫

衣類害虫は、毛や絹が大好きです。防虫剤を入れるか、防虫加工をして保管しましょう。



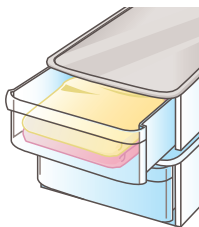
#### 除湿

湿気でカビが生えたり、風合いが変化することがあります。除湿剤を利用するのも一案ですが、定期的に衣類を取り出し、風通しをしましょう。



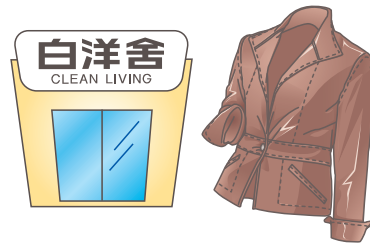
#### たたむ

セーターなどニット素材で型崩れしやすいものは、引出しや収納ケースへ。



#### 預ける

ご自宅での保管が難しい毛皮・皮革製品、次のシーズンまで着ないコートなどは、クリーニング店の保管サービスを利用すると安心で、スペースも有効に使えます。



衣替え品のクリーニングは、ぜひ白洋舎へご用命ください。

白洋舎では、多様なクリーニングメニューを取り揃え、お品物に合わせた最適な方法をご提案します。